



まちづくり協議会 全体事業

～令和4年度事業報告～



◆ 官民協働事業

■ 荒川 P A を活用した地域活性化活動の実施

令和4年10月～12月に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止。
※まちづくり協議会、荒川商工会、金屋集落、海老江集落、市観光協会、とれたて野菜市かみはやし、
羽越河川国道事務所で構成された荒川パーキング利活用推進協議会が実施主体



▲荒川パーキング



◆ 拠点施設整備事業

■ つどい場「あら、ほっ」の一般開放事業

地域の人が集える場所として一般開放（コロナウイルス感染拡大防止のため利用休止時期あり）

定期利用団体 9団体（カーリンコン、ふくちゃ部、草花会など）

一般利用 2団体（個人グループなど）

よってカフェ・ミントの利用 協賛金 96,240円



▲ パンポン



▲ 夢絵本☆野いちごの会

■ つどい場「あら、ほっ」の整備事業/活動事業



▲ 玄関網戸取付



▲ ティファニールーム エアコン取付

■ おらだり基地の整備事業/活動事業



▲おらだり基地



▲消防用設備設置工事・ブルーヒーター購入



◆次世代育成事業

■地域の担い手を育てる「あらかわチャレンジ」

荒川中学校・荒川商工会・あらかわ地区まちづくり協議会の小さな産官学の連携。
SDGs×地域貢献活動を通し、地域の担い手の育成に取り組んでいます。

豪雨災害により地域事業者への影響を鑑みて、今年度の地域事業者との活動は中止。
10月～12月 地域の協力により、アルミ缶を回収を実施し、その費用で駅前イルミネーションを設置
3月 地域事業者から3年生への感謝のメッセージ動画を送り、記念品をプレゼント



▲被災事業者へお見舞い文



▲イルミネーションの実施



▲3年生へ記念品プレゼント



◆新まちづくり計画
策定事業

■ 新まちづくり計画の策定

7月～11月

理事メンバーを中心に、実行委員会を立ち上げ、会議を開催（7回）。

住民ワークショップ開催を計画していたが、豪雨水害のため住民の心情を考慮し事業実施を延期

12月～2月

実行委員会メンバーのスキルアップや、新たな仲間づくりを目的にファシリテーター研修を開催（4回）

2月～3月

新まちづくり計画策定のための住民アンケートを実施



▲ 実行委員会の会議開催



▲ ファシリテーター研修

2 現時点でのあらかわ地区の評価

表2に各項目における回答の割合を示す。
①～⑦は、現在のまちづくり計画に対応した項目である。

項目	どちらかと言えば		どちらかと言えば	
	そう思う	そう思う	そう思わない	そう思わない
①駅を中心とした商業地で、活気と賑わいがつくりだされている	16.3%	40.8%	33.0%	9.9%
②あらかわの大地や川などが活かされ、自然が身近に感じられる	38.2%	39.5%	18.9%	3.4%
③まちづくりの拠点が整って、住民の活躍が促されている	39.5%	42.5%	15.5%	2.6%
④いろいろな年代がかりあひ、地域ぐるみで人を育てている	37.3%	42.1%	18.0%	2.6%
⑤「あらかわ」の情報が積極的にPRされている	36.1%	46.8%	14.2%	3.0%
⑥伝統芸能や文化が大切にされ、受け継がれている	39.9%	42.9%	14.2%	3.0%
⑦人にやさしく、住みよいまちになっている	45.9%	40.8%	11.2%	2.1%

▲ 住民アンケート

まちづくり協議会 全体事業

の報告は以上です。

